附属特別支援学校　学校だより第3号（令和7年6月16日）

附　青空いっぱい

【令和 7 年度　みんなの合言葉】
♪チャレンジ＆ヒーロー
♪ひらく･つながる　附特のチャレンジ

チャレンジ＆ヒーロー②　校外実習

５月２６日（月）から３０日（金）までの５日間、高等部１年生は長崎大学教育学部での校外実習に取り組みました。１年生の進路のテーマは「知る」。校内では作業学習で働くことについて学んでいますが、校外では初めての実習でした。天気にも恵まれ、充実した５日間の実習になったようです。

現場実習壮行会では、高等部１年生として初めて実習に行く緊張と不安を抱きながらも、どこか誇らしげな表情を浮かべているように見ていて感じました。校外実習をとおして、生徒たちが何を学び、何を感じたのか。初めての現場実習報告会も楽しみです。

駐車場の除草作業に取り組む生徒たち

きれいになった駐車場

チャレンジ＆ヒーロー③　現場実習

５月２６日（月）から６月１３日（金）までの１５日間、高等部２年生、３年生は現場実習に取り組みました。２年生の進路のテーマは「広げる」。そして、３年生の進路のテーマは「決める」。事前学習で自分の目標を定めて、実習に臨みました。それぞれの実習先で自分の可能性や将来に向けた視野を広げたり、卒業後の進路決定に向けて、働く場や日中過ごす場、生活の場を考えたりしました。現場実習壮行会で自分の目標や、目標達成のための具体的な方法を生徒たちは発表しましたが、実習の様子を見た際、生徒たちが目標や方法を意識して取り組んでいる姿を見て、たのもしく感じました。最終週は長崎も梅雨入りして、雨の中の通勤も大変だったと思いますが、大きく体調を崩すことなく、実習をやり遂げることができました。２３日（月）の現場実習報告会で、それぞれの学年のテーマに沿った内容、個人目標の振り返りや今後の課題などの発表がされることと思います。小中学部の保護者の皆さんもぜひ御参加ください。

ひらく・つながる　附特のチャレンジ②

いちご農家さんでの校外学習

６月２日（月）に小学部３組は、校外実習でいちご農家さんを訪問しました。校外学習の目的は次のとおりでした。
→店にある商品が、どこでどのように作られているのかを知る。
→農業で働く人の様子を見たり、インタビューをしたりして、農業で働く人に関心をもつ。
☆子供たちはそれぞれに農家の方にインタビューを行いました。

Ｑ：おいしいいちごは、どれですか？
Ａ：赤いいちごが、おいしいですよ。
Ｑ：一日に、いちごは、どれくらいの数、取れますか？
Ａ：１０，０００個取れて、４００パック作ります。
Ｑ：収穫したいちごは、どこに持って行きますか？
Ａ：パックにつめて、JA（農協）に持って行きます。そして、JA から市場へ、市場から店に行きます。

甘くておいしいいちごをたくさんいただくとともに、インタビューも上手にできたようです。振り返りの学習では、インタビューの内容もよく理解できていました。

JA の職員の方には本校までの送迎をしていただき、ありがとうございました。大変良い学びとなりました。

夢中になっていちごを食べました

インタビューをしました

小学部の他の学級、中学部も校外学習に出かけています。またの機会に紹介します。

今年もきれいにしていただきました

５月２５日（日）に、教育学部の藤本学部長先生とご友人の方が、本校敷地内の除草をしてくださいました。校舎裏の中学部や高等部の畑や土手がきれいになり、生徒たちも移動や作業がしやすくなりました。ありがとうございました。

きれいになった畑。今年も野菜をたくさん育てます